

# データ連携基盤サブワーキンググループ 進め方(案)

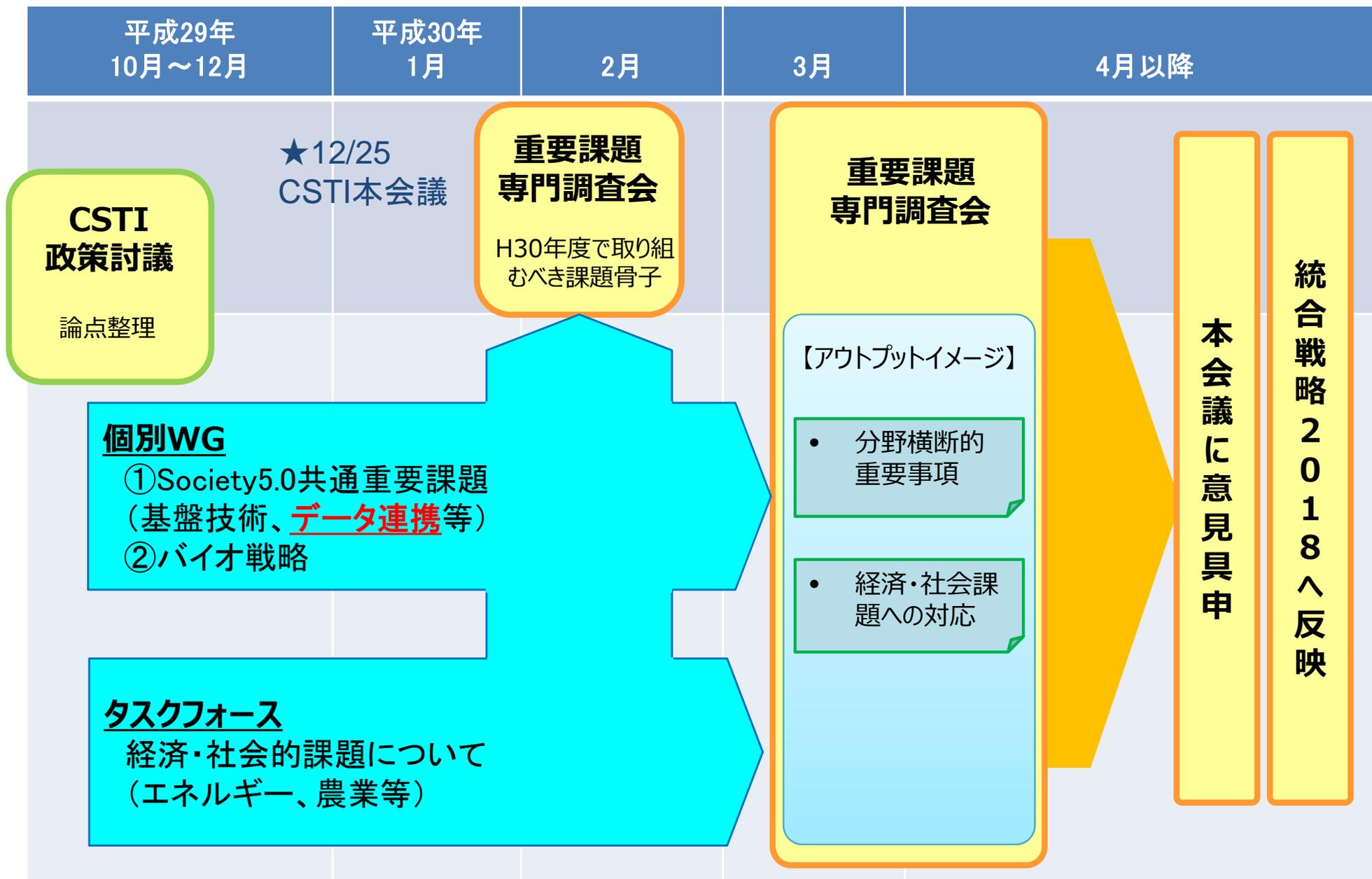
平成30年1月23日(火)

内閣府  
政策統括官(科学技術・イノベーション担当)



# 平成29年度重要課題専門調査会

重要課題専門調査会は、第5期科学技術基本計画で示された「超スマート社会」の実現(Society5.0)に向けた共通基盤の構築の推進及び経済・社会的課題への対応を確実に推進するため、同計画及び科学技術イノベーション総合戦略に掲げられた取り組むべき課題について、より高い専門的知見による調査・検討を行う。



# 重要課題専門調査会の体制

## 総合科学技術・イノベーション会議

### 重要課題専門調査会

#### Society5.0重要課題WG

- 基盤技術
- 知財・標準化
- 規制制度・社会受容
- 人材育成
- **データ連携基盤**

の検討

**データ連携基盤サブWG**

#### バイオ戦略WG

- 目指す経済社会像
- 研究開発課題
- 研究開発環境整備
- ルール、規制、社会受容

の検討

※経済・社会的課題に対応する個別分野については、関係各省課長級によるタスクフォースにおける議論をベースに、重要課題専門調査会にて議論を行う。

# 検討スケジュール（案）

項目	2018年 1月	2月	3月	4月以降
重要課題 専門調査会		▲ 2/22（予定）		▲ 4/月上旬
Society 5.0 重要課題 WG	▲ 1/25	▲ 2/末 取り組むべき 横断的課題骨子	▲ 3/末 横断的重要事項	
データ連携 基盤サブWG	▲ 1/23	▲ 3/月上旬	▲ 3/末～4/月上旬	
	第1回 ・検討の進め方 ・基盤の現状と課題（事務局） ・IT総合戦略室の取組（IT室） ・データ流通推進協議会（日立製作所） ・欧州FIWAREの取組（NEC）	第2回、第3回 ・論点整理 ・データ連携基盤に具備すべき機能・アーキテクチャについて ・データ連携基盤の運営について ・データ連携基盤の利活用の促進について ・データ連携に関する国際動向 等		

# データ連携基盤サブワーキンググループ構成員

(五十音順)

座長	氏名	所属・役職	SIP
	安達 淳	国立情報学研究所 教授/副所長	インフラ
	石川 洋一	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 地球情報基盤センター統合地球情報研究開発部 統融合情報研究開発グループ グループリーダー	海洋
	井上 陽介	一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 G空間情報センター 副センター長 / 企画開発担当	
	臼田 裕一郎	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長	防災・減災
◎	江崎 浩	東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授	
	甲斐 隆嗣	株式会社日立製作所 社会イノベーション事業推進本部 事業戦略推進本部 公共企画本部 本部長	
	出村 雅彦	国立研究開発法人 物質・材料研究機構 統合型材料開発・情報基盤部門 (MaDIS) 副部門長	構造材料
	寺澤 和幸	日本電気株式会社 未来都市づくり推進本部 シニアエキスパート	
	寺島 一男	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事 (推進担当)	農業
	花谷 昌弘	株式会社NTTデータ オープンイノベーション事業創発室 部長	
	松塚 貴英	株式会社富士通研究所 ソフトウェア研究所プロジェクトディレクター	
	三徳 昭弘	ダイナミックマップ基盤株式会社 取締役 副社長	自動走行
	三輪 康史	株式会社日本総研 創発戦略センター シニアスペシャリスト	

- Society 5.0の本格実装に向け、**CSTIが司令塔機能を発揮し、データ連携基盤の取組みを推進**
- 「**人工知能**」と**ビッグデータ**を共有・活用する「**データ連携基盤**」はSociety 5.0実現のための両輪

※ 欧米は、政府公共データを中心に様々なデータが繋がる仕組みを構築しつつあり、「データ連携大競争時代」が到来  
 ※ 日本は、各省、産業界の取り組むデータベースがバラバラなため、データ連携の仕組みの構築が急務

## 人工知能

未来投資会議  
(平成28年4月)

↓ 総理指示に基づき設置

## 人工知能技術戦略会議

※人工知能戦略の司令塔

- ◆ 議長：安西祐一郎  
(日本学術振興会)
- ◆ 顧問：久間和生  
(CSTI常勤議員)
- ◆ 事務局：内閣府CSTI (とりまとめ)  
総、文、経、厚、農、国  
(事業省庁を含めた6省連携に発展拡大)

実施項目

- ・産業化ロードマップ
- ・研究開発目標
- ・人材、制度、振興支援関連等

ビッグデータ  
を活用

人工知能  
を搭載

## データ連携基盤

- CSTIがSIP/PRISMを中核に、分野毎、分野間のビッグデータ連携を推進
- CSTIが司令塔となり、IT戦略本部と連携し、各省、産業界の取組を糾合

安全・安心

生産性革命

人生100年時代

Society 5.0  
実装イメージ

・インフラ維持管理  
(2020年までに  
維持管理の  
20%効率化)



・物流 (2020年に  
高速道路でのトラック隊列走行)

・農業 (コメの生産費5割削減)

・建設



・健康・医療・介護  
(2020年からデータ活用  
基盤の本格稼働)

・教育、人材育成



分野間データ  
連携基盤

『言葉と意味 (=データ)』を共通化・連結

- ・欲しいデータがどこにあるか見つけることができる
- ・分野横断でデータを一括して入手することができる

分野毎  
データ基盤

自動運転  
データ

インフラ・防災  
データ

農業  
データ

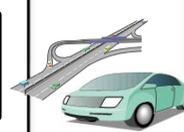
ものづくり  
データ

健康・医療・  
介護  
データ

その他分野

電子行政  
観光  
気象  
衛星  
....

センサー  
データ



- 世界に先駆けて人工知能を搭載し、あらゆる分野のデータが垣根を越えて繋がるデータ連携基盤を構築
- あらゆる分野から融合したビッグデータと人工知能を活用し、安全・安心、生産性革命、人生100年時代に大きく貢献